



No.811
2024.9.6

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

昴第24回総会を開催

8月27日(火) 9:30~12:00
新大阪ココプラザ
(大阪市立青少年センター)



8月26日(月)~27日(火)、新大阪ココプラザ(大阪市立青少年センター)で、団内コンサート、昴第24回総会、強化レッスンが行われました。

団内コンサートを総会・合宿と併せて行う形式に戻すことになり、1日目が団内コンサートと夜の交流会、2日目が総会と強化レッスンと2日間ぎゅっと詰まった内容になりました。みなさんお疲れさまでした。

総会参加者は、合計18名。総会は、議長を大島さん、書記を更家さんに選んで始まりました。

千秋団長の開会あいさつの後、この1年の振り返り、今後1年の活動方針提案、各部からの報告の後、約30分間の討議、財政部からの報告・提案、会計監査報告、討議を経て賛成多数で承認。会則改定の提案を行い、次期役員提案の後、その他の採決を行い、賛成多数で承認され総会を終えました。

全体レッスンの時間の問題(昼間にする。夜の時間を早く終わらせる。)、団員の連絡・交流の手段としてのホームページやスマホの使い方などの問題などで活発な論議がありました。

(討議での主な発言は2面に掲載)

9月~10月の活動予定(会議を除く)

9/6(金)	13:30	声楽中村教室
"	18:00	定例レッスン
9/8(日)		大阪合唱発表会(一般AB、女性、職場)
9/10(火)	13:30	声楽千秋教室I
"	18:00	Br・Bsパートレッスン
9/15(日)	14:00	定例レッスン
9/16(日)		大阪合唱発表会(交流、小編成、オリジナル)
9/19(木)	16:30	声楽千秋教室II
9/20(金)	18:00	定例レッスン
10/1(火)	15:00	T1・T2パートレッスン
10/4(金)	13:30	声楽中村教室
"	18:00	定例レッスン
10/6(日)	14:00	昴友の会定例練習会
10/8(火)	13:30	声楽千秋教室I
"	18:00	Br・Bsパートレッスン
10/11(金)	18:30	中国文化祭出演(クレオ大阪中央)
"	19:30	定例レッスン

10/11(金)の中国文化祭については、後日詳細を連絡します。10/18(金)の定例レッスンは10/11に変更です。

日曜会員の位置づけについて

昨年度総会で、日曜団員の位置づけについては、「日曜日のレッスンに出ることを中心にしたゆるやかな団員」とまとめられましたが、まだ明確になっていない点もあり、文書上で明らかにした方がいいという意見も出ました。

今回の会則改定で、名称を「日曜会員」として団員拡大の活動の一環とする。また、細則を設けてどんな活動をするのか、団員との違いをはっきりさせることにしました。

会則改訂(友の会・日曜会員の位置づけ)

総会での論議をふまえた改訂文です。

○第3条4項

友の会、日曜会員などの制度を設け、団活動の活性化、団員拡大をめざします。

新役員体制について

○昨年からの変更点

副団長	山本宏司(休団中のため退任)
Brパートマネージャー	大橋一雄→向井勝弘
会計監査	向井勝弘・中谷清一(退団)
	→寺脇伸育・米田剛

総会での主な発言

全体レッスンの開催時間の問題

○日曜以外に平日の昼間の練習の機会を作ってほしい。遠くから通っているの、帰ると11時を回る。

○昼間のレッスンについて、特に、冬場の8時30分終了は年寄りには遅い。冬場だけでも検討してほしい。

○ねむかホールは平日の午前中は空いていることが多いが、平日の午後はほとんどふさがっている。

○平日の昼間だと、昴のめざす若い人を団員にという方向とずれるのではないか。

○指揮者、ピアニストの都合も考えなければならない。第3金曜日ならば、練習時間を早くすることは可能ではないかと思う。

○例えば、5時30分から始めて坂井さんが来られるまで、体操・発声練習などの工夫をして、6時から練習をすれば、8時終了もできるのではないか。一度試してみてもは？

○第1金曜日、音楽教室の後、中村先生に発声レッスンをお願いするなど可能性があるのでは。

○若い人に参加してもらおうという点で課題はあるが、第1・3金曜日を5時30分から始めるという方向で調整をしながら、技術部会・運営委員会で検討していきたい。

昴の今後の活動について

○必死にレッスンに参加している。14回コンは成功した。団員が少なくなっても「昴はいいな」「さすが昴だ」と言われる。心から泣かせる歌が1曲でもあればいいと思う。そこまで頑張っていきたい。聞く人の生きてきた思いがあり、その琴線に触れる曲が1曲でも2曲でもあればコンサートは成功する。

○僕たちの世代の合唱団として、新しい指揮者を迎え転機が来ている。誰を対象に、何を歌うのかが大事。少人数で歌える歌があれば、対外演奏に使えると思う。練習の合間に、気軽にレッスンできないだろうか。

○気軽にといっても時間はかかるし、今のレッスン時間の中では、コンサートの曲中心で余裕がない。

○演奏依頼を待っているだけでなく、積極的に出て行って歌う活動をして営業を行うとか、意識的に追求が必要ではないか。

○昴が今まで歌ってきた曲の中で、例えば白樺、鶴、人間の歌などを取り上げたらどうか。

○荒木栄の歌でも大衆的なものはあるし、他にも考えたらたくさんある。

ニュース・ホームページ、団員の交流について

○ニュースは読みやすく、ありがたいと思っている。

○ニュースのネタがないという話だが、他の団のニュースも参考にしてみたらどうか。

○ホームページの団員交流用の掲示板は、パスワードが難しい。簡単にしてもっと書き込みやすくしたらい。

○今の掲示板は、元々が書き込みにくい作りになっているので、当初から使用されないのではないかと思っていた。

パスワードを簡単にすると外部からの侵入もあり難しくしている。使用する人も少ないので、本当は閉鎖したいと思っていた。団員の交流には、LINEやメールの斉送受信など他の方法を検討したらどうかと考えている。

○LINEを見ているが、スマホは苦手です。全員がきちんと使えることを前提にしてほしい。

○本並先生がYouTubeで昴の演奏を公表しているが、昴のホームページにそのリンクを貼ったら、アピールする場になる。昴の情報を正確に早く伝えるためにいろいろな方法を検討したらいい。

友の会について

○団員の友の会への参加が限られている。団員みんなが参加していく体制を考えていった方がいい。

○友の会例会では、いつも昴として演奏しているが、最近ソロの発表も試みている。友の会会員に顔を覚えてもらい、みなさんの声も聴いてもらいたいので参加してほしい。

会則改定について

○細則を設けることには異議はないけれど、友の会と日曜会員が会則に突然出てくるので、「活動を通じて」の前に「制度を設け」を入れたほうがいいのか。

○初めて会則に出てくるものなので、「制度を設け」の文言を入れたほうがいい。

※議長まとめて、1ページの文言にすることになり、全体で承認されました。

コンサートを聞いて 清水育子 (投稿)

先日、「東儀秀樹+BAO」のコンサートに父親と行ってきた。

2か月前毎日新聞にプレゼント企画が載っていたので、イチかバチかで葉書で応募した所、見事当選しました。

場所は「京都コンサートホール」で、ウィークデイの昼間であったので、観客は真ん中世代が多く9割が女性でした。

自分自身「二胡」を習っているが、二胡を「生」で聞いたことが無かったので、期待した以上のコンサートでした。

この演奏会は、東儀秀樹さんの雅楽器と琵琶と二胡とピアノの4人のコラボレーションで、耳には気持ちの良い演奏で最後は3曲もアンコールがあり、観客もスタンドオベーションもあり、盛り上がった演奏会でした。

テレビで見たり勿論CDを買って聞いているが矢張り生はすごい。音響が、すぐに耳に心に響く感じが何とも言えない。当然ですがプロはすごい、最高。

(清水育子さんは、Br清水恭太郎さんの娘さんです。)